



洋書輸入協会会報

Vol. 26 No. 4 (通巻299号) 1992年4月

理事会報告

2月14日(金)

(一) 12月、1月分収支計算・予算対比表

2月7日(金)総務委員会での検討にもとづく神田俊二氏(丸善)の報告を承認した。

(二) 新年懇親会

1月8日(休)に東京プリンスホテルにて開催した新年懇親会の収支につき、事務局より報告があった。

(三) 会員の社名変更

新社名：株式会社 研優社

旧社名：研友社

(四) '92東京国際ブックフェア

JBIA 会員に対する説明会が、2月25日(火)に日本出版会館において、同フェア実行委員会により開催されることが報告された。

(五) フランスの書籍郵便について

昨年7月に船便書籍小包料金制度が廃止され、SAL 便(または航空便)のみとなり、料金の著しい負担増を余儀なくされている件につき、JBIA 会員有志がフランス関係当局へ陳情書を出すことが報告され、JBIA からも陳情することにした。

(六) その他

2月26日(水)

(一) 定時総会

5月14日(水)午後2～5時、学士会館(本郷)において開催することが決定された。

(二) フランスの書籍郵便について

JBIA から2月20日付で、船便復活の陳情書状を、フランス関係当局へ送付したことが報告された。

(三) '92東京国際ブックフェア

2月25日(火)日本出版会館にて開催された JBIA 会員に対する説明会での、洋書の展示・即売方法などの概要について報告がなされた。

(四) その他

海外ニュース

1991年米国書籍売上高の成長率4.6%の見込み

アメリカ出版協会が先週発表した書籍売上額(暫定値)は、業界関係者が予想した通り、1991年は書籍出版社にとって厳しい年であったことを裏付けるものであった。暫定的な集計数字によると1991年の年間総売上は161億4千万ドル、4.6%の成長率となっている。1990年の成長率は5.3%で、2年連続して控え目な成長であったことになる。なお過去にも最も高い成長率を記録したのは1989

理事会報告	1	1991(平成3)年1～12月、	うちの会社	6
海外ニュース	1	洋書輸入通関統計とその分析(前編) ...	海外ニュース	6
フランス郵政大臣へ嘆願書出される!	2	文化厚生委員会だより	東京の坂と橋と文明開化(23)	7
おしらせ	2	フォーティ・ラブ秋季合宿報告 ...	広告	8

年の10.9%となっている。

消費者出版部門は他のカテゴリーよりかなり良い実績を示した。とりわけマス・マーケット・ペーパーバックは売上高12億6千万ドル、9.6%の成長で、これは過去9年間のどの年間成長率よりも高い実績であった。

トレード書も売上高42億5千万ドル、9.1%増とかなりの高い成長を示した。中でも児童書がハードカバー13.3%、ペーパーバック13.8%増と2桁成長を示した唯一の部門となっている。成人部門はハードカバーが8.5%、ペーパーバックが6.1%と控え目となっている。

大学出版は2億6500万ドル、8.0%増、また宗教部門は8億3800万ドル、6.4%増となっている。

その他の分野の伸びは不振で最も低いのはカレッジ部門とメールオーダー部門で僅か0.3%増、各々の売上は20億ドル弱および7億3360万ドルとなっている。el-hi 分野は1.7%増、20億6千万ドル、プロフェッショナル部門と予約レファレンス部門はともに2.2%の成長率で各々28億3千万ドル、5億5240万ドルであった。

—B.P.レポート 2月10日号から抜粋—
—(株)伊國屋書店提供—

(投稿)

フランス郵政大臣へ嘆願書出される！

ビューロー ホソヤ 細谷愛子

フランス出版社と取引のある書店は、既にご存知のとおり、昨年7月中旬フランス郵政省は突如として船便書籍小包料金制度を廃止し、SAL便(または航空便)のみとなった。新料金制度は実際には、秋頃から徐々に適用され(即日全面改訂とならないところが、いかにもフランスらしい。?)、5倍近くにはね上がった料金が、ずっしりとのしかかってきた。

それまで、取次点 CELF 社が中心となりフランス関係各省と折衝を重ねてきたフランス出版社は、11月に文化省の予算により「援助金付 SAL 便」(注1)を開始した。またエアフレート混載システム(注2)も続行されているとはいえ、送料負担の問題は、特に仏語人口増加に影響を与える仏語教材取扱店にとって深刻なものとなりつつあった。

これは、フランス文化普及のためのみならず、洋書取

扱業者全体の健全な経営のためにも、またフランスにて続行中の折衝に加担するためにも(他国の書店からは抗議の書簡あり。)郵政大臣へ嘆願書を提出すべきであるという書店有志からの提案に至った。

今後とも、対外的に主張すべき点は、はっきりと主張すべきではなからうか。

フランス郵政大臣宛嘆願書 《要約》

私共、書店・卸業者・フランス出版社代表として、長年にわたりフランス文化の日本における普及に努めてまいりました。

フランスから日本への書籍輸出の3分の2は従来、船便にたよっておりましたが、昨年7月15日付、フランス郵政省による船便廃止により、送料の負担が約4.8倍に増大する結果となりました。

(旧料金 船便	1 kg あたり	7.90FF
新料金 SAL	1 kg あたり	34.80FF)

よって、誠に遺憾ながら今後日本におけるフランス文化の地位、及び経済面にも悪影響を及ぼすものと懸念されます。

私共は今後とも引き続き日本におけるフランス文化の地位向上にひろく貢献いたしたく、つきましては昨年夏の決定事項を再検討していただけますよう懇願致します。

1992年2月20日

賛同書店署名

(コピーをフランス関係者各省大臣、出版組合会長及び在日フランス大使館宛送付)

(注1)(注2)…詳細はビューローホソヤへ。

(付記)

洋書輸入協会からも、理事長名でフランス郵政大臣ほか関係当局へ陳情書を送付しました。(会報委員会)

おしらせ

次の通り社名が変更になりました。

新社名：株式会社 研優社

KENYUSHA BOOKS CO., LTD.

代表取締役 高尾精治

旧社名：研友社

1991（平成3）年1～12月、洋書輸入通関統計とその分析（前編）

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

大蔵省関税局から、1991（平成3）年1～12月の日本貿易統計が発表されたので、その中の洋書関係の数字をピックアップして表示すると共に、若干の分析を試みたい。

1. 1991年1～12月、書籍・雑誌の輸入通関統計表

（表1）書籍

（単位 百万円）

品 目	'90.1～12月 価 額	'91.1～12月 価 額	前年比	構成比
単一シートのもの	166	55	33	0.2
辞典及び事典	467	489	105	1.8
その他のもの	32,641	26,580	81	98.0
計	33,274	27,124	82	100.0

（注1） 書籍とは、「印刷した書籍、小冊子、リーフレットその他これらに類する印刷物（単一シートのものであるかないかを問わない）」を対象とする。

（注2） 単一シートのは、折り畳みであるかないかを問わない。この分類は'88より新設のもの。

（注3） 辞典及び事典には、シリーズの形式で発行するものを含む。この分類は'88より新設のもの。

（注4） 「その他のもの」が、いわゆる一般の書籍である。

（表2）新聞・雑誌その他の定期刊行物

（単位 百万円）

品 名	'90.1～12月 価 額	'91.1～12月 価 額	前年比	構成比
一週に4回以上 発行するもの	139	90	65	0.6
新 聞	34	26	77	0.2
雑誌その他の 定期刊行物	16,793	14,283	85	99.2
計	16,966	14,399	85	100.0

（注1） 新聞、雑誌その他の定期刊行物は、挿絵を有するか有しないか、または広告を含んでいるかない

かを問わない。

（注2） 「一週に4回以上発行するもの」は、'88より新設のもの。新聞ではない。

〔分析〕

一週に4回以上発行するものと新聞との合計額が、一年間で1.16億円で、新聞・雑誌その他の定期刊行物の中の構成比が0.8%であるとは一寸信じ難い。実態を現していないのではなかろうか。いずれにせよこの三者は、合計額で把握する他あるまいと思われる。

（表3）書籍・雑誌の合計額

（単位 百万円）

品 名	'90.1～12月 価 額	'91.1～12月 価 額	前年比	構成比
書 籍	33,274	27,124	81.5	65
新聞・雑誌	16,966	14,399	84.9	35
計	50,240	41,523	82.7	100

（注1） 価格はCIF又はC&Fである。

（注2） 小額貨物の20万円以下は含まれていない。

（注3） 書籍は、現品入荷月の15日までに届出が行われるため、入荷より平均1ヵ月の遅れで計上されている。

（注4） 雑誌は、最終号が到着したと認められる時点において届出が行われるため、初号入荷時よりも約1年遅れで計上されている。

〔分析〕

(1) 円高調整後の前年比は、実質9.7%のダウン

（表3）では、書籍、新聞・雑誌の合計輸入額は前年比82.7%であるから、17.3%のダウンとなっている。一方で'91（平成3）年1～12月の為替相場は、（表8）の計算で見られるように、加重平均で7.6%の円高となっている。従って実質的な輸入額のダウンは、17.3%－7.6%＝9.7%である。

(2) '87（昭和62）年以来4年連続の成長がストップ

'86(昭和61)年12月から始まった大型景気と併行して、永年の低迷から脱した洋書界は、'87(昭和62)年以来4年連続して成長をとげる。4年連続の成長は、'72(昭和47)年以来の20年間の洋書輸入業界で初めてのことである(表4参照)。

しかしこれも、昨年半ばにおける景気拡大の終熄と、これに続く景気後退の始まりと共に'90(平成2)年で成長は終り、昨年は17.3%(実質9.7%)のダウンとなった。

出版界は景気の好、不況の影響をあまり受けないと言われているが、今回の数字は珍しくも大型景気と歩調を一にしている。ただし世間では、この大型景気がバブル経済となり、昨年秋以降バブル経済がはじけたとされているが、洋書業界は数字の上でこそ4年連続の成長ではあっても、実質的には海外との流通摩擦、マイナス・シーリング、消費税などの逆風によって、バブルらしきものは全くないままに終った。その代り、この業界では株や不動産に手を出す余裕を持つものがなく、バブルがはじけて倒産に追い込まれた協会員もいないという、堅実な業界の存在を示した結果となっている。

(3) 輸入合計額500億円の大台から後退

以上のような次第で、'90(平成2)年に折角500億円の
大台に乗った書籍、新聞・雑誌の合計輸入額も、僅か一年で大台から滑り落ち、415億円にとどまっている。

2. 最近10年間の推移一覧

(表4) 1982~'91年書籍、新聞・雑誌輸入通関統計推移表

暦年	(単位 百万円)							
	書 籍				新聞・雑誌(注)			
	価 額	前比	指数		価 額	前比	指数	
			%				%	
1982	21,285	112	100		11,259	123	100	
'83	20,028	94	94		11,130	99	99	
'84	20,874	104	98		11,006	99	98	
'85	21,897	105	103		11,087	101	98	
'86	18,174	83	85		9,873	89	88	
'87	21,461	118	101		12,339	125	110	
'88	23,143	108	109		13,591	110	121	
'89	27,181	117	128		14,083	104	125	
'90	33,274	122	156		16,966	120	151	
'91	27,124	82	127		14,399	85	128	

(注) 1988(昭和63)年から、雑誌に新聞が含まれたた

め、'87以前の数字は、すべて新聞含みの数字に訂正してある。

3. 1991年1~12月、主要6ヵ国の輸入通関統計表

1990(平成2)年に東西ドイツが合併した。統計上は、1990年1~10月末は東西ドイツでそれぞれ計上され、11~12月は東西ドイツの合計額が西独として計上されている。従って1991年のドイツの前年比は1990年の西独分に、1~10月の東独分(書籍29、新聞・雑誌30、計59百万円)を加えた上で算出した。

(表5) 書籍

(単位 百万円)						
国 名	単 シート	辞・事典	その他	計	前年比	構成比
					%	%
米	16	162	9,758	9,936	91	37
英	2	191	6,740	6,933	80	25
独	14	6	3,336	3,356	77	12
仏	2	14	1,129	1,145	46	4
オランダ	4		970	974	69	4
ス イ ス	4	1	534	539	63	2
小 計	42	374	22,467	22,883	80	84
そ の 他	13	115	4,113	4,241	90	16
計	55	489	26,580	27,124	82	100

(表6) 新聞、雑誌その他の定期刊行物

(単位 百万円)						
国 名	週 ⁴ 回 以上	新 聞	雑 誌	計	前年比	構成比
					%	%
米	2	12	5,631	5,645	85	39
英		1	3,118	3,119	97	22
独			1,228	1,228	66	8
仏		4	702	706	90	5
オランダ			1,814	1,814	86	13
ス イ ス			401	401	52	3
小 計	2	17	12,894	12,913	84	90
そ の 他	88	9	1,389	1,486	93	10
計	90	26	14,283	14,399	85	100

(表7) 書籍・新聞・雑誌の合計額

(単位 百万円)

国名	書 籍				新聞・雑誌				計			
	価 額	前比	増減	%	価 額	前比	増減	%	価 額	前比	増減	%
米	9,936	91	37		5,645	85	39		15,581	89	38	
英	6,933	80	25		3,119	97	22		10,052	85	24	
独	3,356	78	12		1,228	68	8		4,584	74	11	
仏	1,145	46	4		706	90	5		1,851	57	4	
オランダ	974	69	4		1,814	86	13		2,788	79	7	
スイス	539	63	2		401	52	3		940	57	2	
小計	22,883	80	84		12,913	84	90		35,796	81	86	
その他	4,241	90	16		1,486	93	10		5,727	91	14	
計	27,124	82	100		14,399	85	100		41,523	83	100	

[分析]

'90(平成2)年は、前年比米国で106%、ヨーロッパの主要5ヵ国で133%、6ヵ国計で121%とどちらかと言えばヨーロッパ諸国で成長率が高かった。これはヨーロッパで異常に円安が進行したこととも関係する。それが'91(平成3)年は、米国では前年比89%にとどまって、ヨーロッパ5ヵ国計では前年比77%と大幅なダウンとなり、'89の水準に戻っている。これも円高が、米国におけるよりもヨーロッパの方で幅が広がったことと関係している(表8参照)。

殊にフランスでは、'90に輸入額が前年比2倍となって、原因が分らなかったが、'91は前年比57%で、'89比114%と妥当なところに落ち着いた。

4. 主要6ヵ国為替相場の動向

(表8) 1991年1～12月、主要6ヵ国の年間平均為替相場の前年比

通貨	'91年間平均為替相場	前年比	'91洋書輸入価額構成比	円安又は円高の加重平均
	円		%	
US.\$	136.13	6.7%の円高	38	2.5%の円高
Stg.£	242.59	7.5%の "	24	1.8%の "
D.M.	82.23	9.0%の "	11	1.0%の "
F.FR.	24.38	9.8%の "	4	0.4%の "
D.GL.	72.96	9.0%の "	7	0.6%の "
S.FR.	95.31	9.6%の "	2	0.2%の "
小計			86	6.5%の円高
その他の国		推定8%の円高	14	1.1%の高
総計			100	7.6%の円高

(次号へ続く)

文化厚生委員会だより

フォーティ・ラブ(テニス同好会)
秋季合宿報告

平成3年12月7～8日/於、津久井湖畔プチ・ピラ

毎年、春秋の二回、テニス同好の会員諸兄姉及び初参加の有志の方々との親睦と、実戦的練習試合も兼ねて、関東一円のテニスリゾートを巡回、利用しての一泊二日の懇親行事は、今回は好天に恵まれ、晩秋の風情豊かな津久井湖畔「プチ・ピラ」にて挙行された。

常連会員の方々が、今秋は学会参加等の行事で多忙の為、秋季合宿も12月に持ち越したが、幹事各位のご健闘により、二日二晩で延べ20名余の参加者をお迎えでき、初見参の小生には、大変エキサイティングな親睦行事体験となった。

まず驚いたのは、当会発足以来の超ベテラン各位の大半は、土曜と日曜二日間コート予約利用のスケジュールなるも、金曜の夜から、退社後直行で、夜の「プチ・ピラ」の快適なるコテージに到着後、談論風発、酒杯交歓で、夜九時頃から翌朝二時過ぎ迄の一時を楽しみ、豪快なる寢息共鳴にも臆せず熟睡され、翌朝も七時の朝食前の肩慣らし練習30分を励行する猛者が、大半であったことだ。

今年は、総じて、初参加の若手社員男女も多く、外国人の会員も加わり、今後が楽しみ。初参加、テニス初心者の方々には、ベテラン会員のY氏によるサーブ；打法技術の特訓や、A氏、N氏他百戦練磨の超ベテラン会員によるダブルス・ペアの呼吸の合わせ方、連繫プレー戦略、心理作戦等々に、大変参考となるアドバイスが得られよう。得難いコーチングだ。練習後の会食、夜の一風呂浴びた後の歓談も愉快で、初冬の津久井湖畔泊でも、予想外に心身が、心から暖まる楽しい合宿であった。

今回は、4月18～19日、同じく津久井湖畔「プチ・ピラ」合宿予定。特製「パスポート」発給や、自家製の珍品土産品も揃えてお待ちしております、とのピラ館主談。近辺散策も楽しい。(ジュース・サーバー/W生)

うちの会社

“ベストセラーはいらない……良書は時代を越える”

アメリカ大学出版局グループ

1981年に MIT がホストプレスとなりハーバード、エールに呼びかけ、グループ結成直前にシカゴ、カリフォルニアが入り、5 UP の “ユニバーシティ・プレス・グループ” がスタートしました。更に1987年にプリンストンが入り、6大UPとして現在に至っていますが名前は “アメリカ大学出版局グループ” と変更になりました。テリトリーとして日本の他韓国、台湾、香港も受け待っております。

大学出版局は商業出版社と比べて無利益団体ですので、その使命として学術的に質の高い品格のある内容を心がけております。時代遅れのものやリージョナルなもの、部数の極端に少ないものなども抱え込む事になり、経営面で厳しいところもありますがプレスの編集人のプライドは様々な困難を乗り越えニーズに媚びない姿勢を保っています。しかし、これも徐々に変化して行くのも仕方のない事かも知れません。

ハーバードは特に世界のオピニオンリーダーとして、自他共に認めるプレスですが、名ディレクターのローゼンタール氏が昨年引退し、40代の若き W. シスラー氏に代り、どう変貌するかが注目を集めています。シカゴは大御所の M. フィリップソン氏率いる大型プレスですが、“ベストセラーは要らない” をモットーに

がっちりとした出版姿勢を保っています。MIT は、日本はもとより韓国、台湾でも売上No. 1 で、時代の即応性はかなり高いと云えます。コンピュータ、リングイステックス、フィロソフィー、エコノミックス、建築と幅広く、他のプレスとはひと味違います。エールは規模的には一番小さいプレスですが、近年アートに力を入れ、アートクリティシズムでは他の追従を許しません。カリフォルニアはアジア研究で知られていますが、リージョナルな出版が多く、地理的にも西海岸にあり、国内での運営でむずかしさがありました。今年からプリンストンとウエアハウスを共有し、ショッピング面等徐々に快方に向かっております。プリンストンは6 UP の中で唯一、印刷部を所有している大型プレスです、出版点数も多くアインシュタイン関係の出版に見られる様に、名実ともに品格の高い大学出版局です。

当グループは石神幸宏と石神敦子の二人で（夫婦です）自宅のマンションを使って代表業務を行なっています。日進月歩のOA 器機、増え続けるカタログの氾濫で基本的人権が危うくなっていますが、日米摩擦解消の為にますます頑張っていくつもりです。

海外ニュース

米国出版社の営業利益は安定

アメリカ出版者協会（AAP）による年次データ分析によると、el-hi（小学校から高校まで）テキスト・ブック分野を除いて主要出版分野の1990年税引前営業利益は安定したものであった。

el-hi テキスト・ブックはプロフィット・マージンを1989年の6%から1990年の15.8%に伸ばしている。商品原価が4%減少したことと営業費を2.5%節約したことが改善につながった。

トレード・ブックのマージンは11.5%から9.8%に減少

したが、プロフェッショナル・ブックのマージンは1989年の22.2%から1990年19.3%に減少した。

カレッジ・テキストは1989年の17.4%から19%へ改善している。

マス・マーケット出版社の純売上高に対する利潤マージンは1990年5.2%であり、総売上高に対しては2.9%となっている。

el-hi を除く上記4出版分野の中、2分野が対1989年比減少となっているがその減少幅は控え目なものであった。

—The Bookseller 1月3日号から抜粋—

—俵紀伊國屋書店提供—

築地と洋学〔1〕 『解体新書』をめぐる蘭学者たち

丸善・本の図書館 鈴木 陽二

「暁橋」という美しい名の橋をわたって築地3丁目から明石町に入る。わたってといっても、この橋は築地川の跡に造られた築地川公園の建造物の一部となって、今はまるで橋の模造品である。流れや噴水を配して、この一帯は小ぎれいにモダンに整備されている。聖路加病院の塔を仰ぎ見ながら進むと、右手に「慶応義塾発祥の地碑」と並ぶように、『解体新書』を記念する「蘭学の泉の碑」が立っている。この度はこの碑に因んで幕末から明治初期の洋学の歴史を少し辿ってみることにしよう。

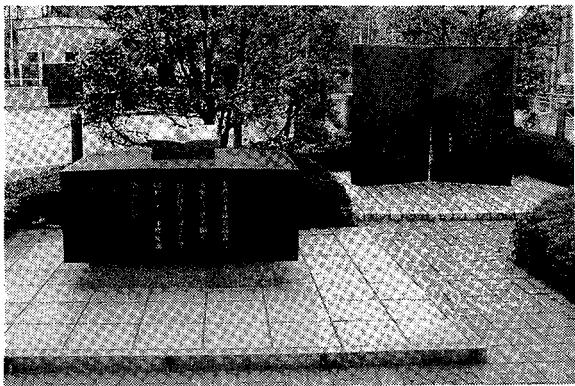
開明的將軍徳川吉宗は洋馬を輸入し、和蘭通詞今村英生に日本で初めてのオランダ書の訳となる馬の治療に関する文献『西説伯樂必携』（享保10年＝1725）を翻訳させ、さらにヤン＝ヨンストン（オランダの動物学者）の『動物図説』の解説を時の博物学者青木昆陽と野呂元丈（將軍のお目見え医師で本草学に詳しかった）に命じた。彼等はオランダ語の学習から始め、元丈はその本を訳述して『阿蘭陀禽獸虫魚図和解』（寛保元年＝1741）を將軍に献呈し、昆陽はオランダ語学習の成果を『和蘭話訳』『和蘭文字略考』『和蘭文訳』などに結実する。

さて、中津藩藩医の前野良沢は友人からミミズのはったようなオランダ文字を見せられて、同じ人間なら読めぬはずがなかりとオランダ語の学習を思い立ち、昆陽の門下生となりまた長崎で和蘭通詞に教えを受けた。その折彼はオランダ語の解剖書『ターヘル・アナトミア』を入手する。同じ頃若狭小浜藩酒井侯の侍医杉田玄白も藩侯に頼んでこの本を購入していた。かねてよりこの本の解剖図と実際の内臓との対照を熱望していた玄白は、幕府に刑死体の腑分の実見を願いでいた。やがて機会が訪れ、明和8年（1771）3月に小塚原刑場で女の刑死体が解剖に付された折、良沢、中川淳庵（玄白と同じ小浜藩の江戸詰医師）と誘いあってその見学に赴いた。この時良沢も玄白もくだんの書を持参して実物と突き合わせた結果、その正確な一致に驚嘆する。そこで彼らはこの書の翻訳を思い立ち、早速鉄砲州の中津藩奥平家中屋敷にあった良沢の家に集まって実行に着手した。オランダ語ができなかった玄白は先ず良沢からオランダ語の学習を始め、辞書もない中で一語一語の訳を積み重ねなが

ら翻訳を進めていった。こうして『解体新書』は3年半の歳月をかけて完成をみる。

さて、この本には制作関係者として杉田玄白翼訳、中川淳庵鱗校、石川玄常世通参、桂川甫周世民間、と名が記されている。石川玄常は一橋侯の侍医で良沢の名声を慕ってこの事業に参加したのだという。桂川甫周は將軍家侍医桂川家の4代目にあたり、奥平家中屋敷のついでと鼻の先に屋敷を拝領し蘭学界における最高の名家として権勢を誇っていた。今、築地1丁目に「桂川甫周屋敷跡」の碑が見られる。彼は訳業に特別の尽力はしなかったが、この本の権威付けにその名前は大いに役立ち、また外国書の翻訳が危険であった時代に桂川家の政治力が果たした役割も大きかった。甫周は医師にもかかわらず世界地理に興味をもち、後にロシア漂流民大黒屋光太夫からの聴聞で『北槎聞略』を書いたり、『魯西亜志』を訳出したことなどは以前紹介した通りである。

ところで、訳業の中心的人物良沢の名前が表示されていないのは、完全主義者の彼にとって玄白の拙速をものともしない強引な進め方と、そのため誤訳も見られる不十分な内容となった訳書に名を連ねることを断わったためと考えられている。良沢は翻訳事業が開始されるや「閉戸して外へも出でず」（杉田玄白『蘭学事始』）というほどのめり込みで、これに反し玄白は初めてのオランダ医学書の翻訳（と彼は信じていた）に功名心を逸らせ、事業の完成に向けて速二無二突き進んだのである。しかし、そのような相反した二人の組み合わせがこの大事業を成功に導いたものといえる。



右手奥が「蘭学の泉の碑」

Journals offering new directions in research...

MOLECULAR MATERIALS

L.M. Blinov, Editor in Chief, Institute for
Crystallography, USSR Academy of Sciences, Moscow

Section C of the journal *Molecular Crystals and Liquid Crystals
Science and Technology*

Serves as a focus for current academic and industrial research
of both a theoretical and experimental nature in the design,
investigation and application of various molecular organic
materials carried out in the Soviet Union and elsewhere.

ISSN: 1058-7276 • 4 issues per volume
Current subscription: Volume 1 (1992)

NONLINEAR OPTICS

Principles, Materials, Phenomena, and Devices

T. Kobayashi, Editor, University of Tokyo, Japan

Section B of the journal *Molecular Crystals and Liquid Crystals
Science and Technology*

Nonlinear Optics features primary papers reporting original
research, review articles and rapid communications.

ISSN: 1058-7268 • 4 issues per volume
Current subscription: Volumes 2-3 (1992)

OPTIMIZATION METHODS AND SOFTWARE

Yu.G. Evtushenko, Editor in Chief, Computing Center,
USSR Academy of Sciences, Moscow

Optimization Methods and Software publishes refereed pa-
pers on the latest developments in the theory and realization
of optimization methods, with particular emphasis on the
interface between software development and algorithm
design.

ISSN: 1055-6788 • 4 issues per volume
Current subscription: Volume 1 (1992)

JOURNAL OF NONPARAMETRIC STATISTICS

Ibrahim A. Ahmad, Editor in Chief, Northern Illinois
University, De Kalb

There is no international medium so tailored as this journal
for presenting new and exciting results in the field. *Journal of
Nonparametric Statistics* covers all aspects of the subject.

ISSN: 1048-5252 • 4 issues per volume
Current Subscription: Volume 1 (1992)

ASTRONOMICAL AND ASTROPHYSICAL TRANSACTIONS

The Journal of the Soviet Astronomical Society

N.G. Bocharov, Editor in Chief, Sternberg Astronomical
Institute, Moscow, USSR

Provides a forum for the rapid publication of material from
all modern and classical fields of astronomy and astro-
physics, as well as material concerned with astronomical
instrumentation and related fundamental sciences.

ISSN: 1055-6796 • 4 issues per volume
Current subscription: Volume 1 (1992)

INTEGRATED FERROELECTRICS

George W. Taylor, Editor, Princeton Resources,
New Jersey

The journal provides an international, interdisciplinary fo-
rum for electronic engineers and physicists as well as process
and systems engineers, ceramicists and chemists who are
involved in research, design, development, manufacturing
and utilization of integrated ferroelectric devices.

ISSN: 1058-4587 • 4 issues per volume
Current subscription: Volume 1 (1992)

LASERS IN ENGINEERING

B.L. Mordike, Editor, Institut für Werkstoffkunde und
Werkstofftechnik, Technische Universität Clausthal,
Clausthal-Zellerfeld, Germany

Publishes research articles, reviews, short communications
and letters on all aspects relating to the application of lasers
in engineering and related disciplines.

ISSN: 0898-1507 • 4 issues per volume
Current subscription: Volume 2 (1992)

SUPERCONDUCTIVITY REVIEW

Charles P. Poole, Jr., Editor, University of South
Carolina, USA

Superconductivity Review plans to survey all of the
literature in the field so that researchers can rely on it as
their prime source of reference material.

ISSN: 1054-2698 • 4 issues per volume
Current Subscription: Volume 1 (1992) ¥82,000

ジャーナルの見本誌をご希望の場合は下記宛ご請求下さい。
 洋販(日本洋書販売配給株式会社)プロモーション 2 部
169 東京都新宿区大久保3-14-9 ☎03-3208-0186(直) FAX03-3209-0288



Gordon and Breach Science Publishers

Philadelphia • Reading • Paris • Montreux • Tokyo • Melbourne

1992年4月 通巻第299号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎3271-6901 FAX.3271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329